

式 辞

春の光が降り注ぎ、校庭の桜やチューリップが咲き誇るこの良き日、葛城市立新庄北小学校の入学式を迎えられました新一年生三十名のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんをこの新庄北小学校にお迎えすることができて、心からうれしく思います。

さて、一年生のみなさん、小学校になると漢字という文字を習います。まず、最初に習うのがこの字です。後ろにいる五・六年生の方は答えが分かると思いますが、静かに聞いてください。

（「一」という字を書く。）

この字を読むことはできますか？ 一年生の「一」です。この漢字から漢字の勉強が始まります。私の名前は中川純一と言いますが、純一の「一」はこの漢字です。私はこの漢字が大好きです。なぜかという、たくさんの方が「心を一つにする」ことで大きなことができるからです。小学校では運動会や学年の発表会など、心を一つに取り組む行事がたくさんあります。そして、まわりの人を感動させることができます。まわりの人というのは、ここにいる先生、後ろにいるお姉さん、お兄さん、たくさんのお家の方、そして、地域の方です。これからみなさんは、たくさんの人と関わっていきます。

（「人」という漢字を付け足す。）

一年生の「一」の字に「人」という漢字を付け足すと「大」という字になります。みなさんはこれか

らたくさんの人と心を一つにしたり、たくさんの人と出会うことで大きく大きく成長していくと校長先生は信じています。

（縦画を書き入れる。）

また、まっすぐな「木」のように、栄養分と水分を自分から吸収して、心も身体も大きくなつてほしいと思います。

心を大きくするにはどうすれば良いのでしょうか？

（「一」を「木」の根元に付け足す。）

まずは「本」をたくさん読んで欲しいと思います。新庄北小学校の図書室には一二三三八冊のたくさんの本があります。「本は心の栄養」とよく言います。まずは絵本からでも良いのでチャレンジしてみてください。

わからないことや困ったことがあれば、後ろにいる五年生、六年生のお姉さん、お兄さんも一年生をしつかりと支えてくれます。他の学校にも自慢できる心優しい五年生・六年生です。また、毎日の部団の登下校や掃除、休み時間の遊びなど、みなさんの安全を守ってくれたり、掃除の仕方やいろいろな遊びなど、ていねいに教えてくれたりします。

さて、ご来賓の皆様、地域の皆様、本日はお忙しい中、入学式にご参列いただき、誠にありがとうございます。全校児童二百三名で本年度がスタートいたしました。皆様のご協力のもと、この新庄北小学校で学んだことや自分たちが育った地域を誇りに思う子どもたちを育ててまいりたいと思います。

（「一」を外して、「一」を上につけ足す。「来」も書く。）

本年度も、どうか「未来」に向かう一年生の木の根になつていただいて、本校へのご支援、ご協力をよろしく願ひいたします。

そして、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。今まで大切に育ててこられたお子様一人ひとりのよさや可能性が少しでも大きく育つように、教職員一同、個別最適な学び、協働的な学びを研究、そして実践し、子どもたちに寄り添い、自分から考え、行動できるような児童を育成してまいります。どうか本校の教育にご理解、ご協力をいただき、共に子どもたちを支えていただけるようお願い申し上げます。

先日、卒業生が、

「未来に向かつてはばたいていきます。」
という言葉を残して旅立っていきました。「未来」に向かつて粘り強く生きていく力を六年間で養つていきます。

最後に、今日は、一年生みなさんに私から心を込めて言葉を贈りたいと思います。

「一年生みなさん、大好きな大好きな新庄北小学校に入学してくれて、ありがとう。」

令和七年四月九日

葛城市立新庄北小学校

校長 中川 純一